

この教科はこう学べ～自学自習のためのアドバイス～

※教科担当の先生たちが、アドバイスをします

国 語(豊かな言葉の使い手になるために)

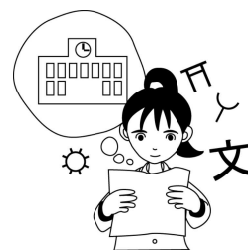
野田・丸岡・藤本の

- ・『読む』 文章や詩を声に出して何回も読む。
良い文章を毎日読む。 新聞を読む。 1年で30冊以上本を読む。
- ・『書く』 新出漢字は、繰り返して書いて覚える。 一点一画を確かめながら書く。
こまめにメモをとる。 初め・中・終わりを意識して書く。
「話す」ことを念頭に置いて、自分の思いや考えを書く。(「あゆみ」等の活用)
- ・『辞書を引く』 わからない言葉や漢字があれば、こまめに辞書を引く。

社 会(歴史も地理も公民も、よりよい未来をつくるため)

山下・逸見・河内・山口

- ・教科書の太字、重要語句などは漢字で書けるようにしておこう。
(漢字の意味と関連づけて覚える。)
- ・自分で簡単な歴史年表を作り、書きこみながら出来事を覚えよう。
- ・テレビや新聞などのニュースから日本や世界の動きに関心を持とう。
(地図帳で国の位置などをチェックする。)
- ・自分たちの町(三好市)について関心を持とう。
- ・教科書のQRコードを読み取って、様々な資料に触れよう。



数 学(筋道を立てて正確に)

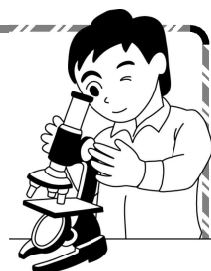
宮田・武井・新居・村上

- ・授業の内容はその日のうちに復習を！理解を定着させるためにも、必ずその日のうちに復習をしておこう。教科書の問を解き直す、数学演習の習った所の問題を解くなどしていこう。
- ・多くの問題を解くことが、数学ができるようになる近道です。授業がない日でも、欠かさず数学の問題にチャレンジしよう。

理 科(科学は面白い！科学は感動！)

竹谷・前田

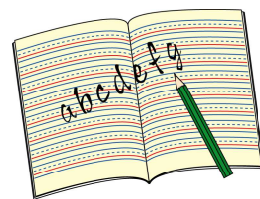
- ・基本用語(教科書の太字など)を漢字で覚えよう。(意味が理解できます。)
- ・授業の内容(実験や観察したことも)は、その日のうちに復習し、ノートに整理しておこう。
- ・習ったらすぐ探究やノートの問題を解いてみよう。
- ・授業で使ったプリントやワークを整理し授業を振り返ろう。



英 語(使える英語をめざそう)

峰友・鮎川・藤本さ・レベカ

- ・教科書の文章を音読したり、自分なりに文を変えて言ったり、書いたりしよう。
- ・その日の授業で習った単語や文を、繰り返し書いて覚えよう。
- ・プリントやワークを整理し授業を振り返ろう。
- ・積極的に英語を使ってみよう。



音 楽(音楽は人生を豊かにする)

大澤

- ・習った曲の歌詞を覚えよう。また、曲に出てくる音楽記号の読み方や意味を知ろう。
- ・習った楽器の指使いなどの復習をしよう。
- ・交響曲、オペラ、歌舞伎などを聴いてみよう。

美 術(一人一人の美と向き合おう)

大西

- ・授業で習った技法を使って家庭でも復習してみよう。
- ・好きな物をスケッチしてみよう。
- ・作品展などに積極的に応募してみよう。



保健体育(いい汗かいて体と心を健やかに)

伊原・徳善

- ・その日に習った実技のルールやマナーなどを実技書を使い確認しよう。
- ・毎日適度な運動を行い、筋力アップや持久力の強化に努めよう。
- ・保健分野で学習した内容について、日常生活を振り返り、自分の課題を見つけよう。

技術・家庭(生活を楽しく豊かにしよう)

矢野・元木

- ・身のまわりの製品がどのような仕組みで作られ、働いているのかを考えましょう。
- ・個別の知識(物の名称など)も大切ですが、それよりも、それらに共通する科学的な原理を理解し、他に応用できる知識を身に付けましょう。
- ・衣食住について、学習したことを家庭で実践しよう。
(家庭での生活は、家庭科の学習そのものです。食事や洗濯、アイロンがけ、掃除など進んで手伝いをしよう。)



※「学ぶ」と「習う」の違いは……

「論語」学而より

答え 「学ぶ」は、話を聞いたり本を読んだりして、新しい知識を得ること

「習う」は、(鳥が白い羽を見せて飛ぶ練習をすることから)くり返し練習して身につけること